

チップキャッチコンベヤー (バージョン3・バージョン4)

故障？

修理を依頼をされる前に、この表で症状をお確かめ下さい。関連文書に詳細説明があります。これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、当社サービス、または最寄の営業所までご連絡下さい。

銘板に記載されている図面番号の最初の 2文字が PA (例：PA-00034) で始まれば、

チップキャッチコンベヤーはVersion4 です。

それ以外はVersion2、あるいはVersion3のチップキャッチコンベヤーです。

- * 機械の点検や修理をする際は、必ず電源を遮断してから作業して下さい。
- * 制御盤・モータは電気工事に関する有資格者が作業に携わって下さい。

症状	調べる箇所・原因・対策	関連文書 番号
電装関係		
電源が入らない	一次側電源の200/220Vと100/110Vの電圧が出ていない。 コンベヤー側に電源を供給して下さい。	
	制御盤内の端子の固定ビスが緩んでいる。 制御盤内の固定ビスの増し締めをして下さい。	
電源が入っているのに、コンベヤーが操作できない	制御盤内のサーマルがトリップしている。 サーマルのトリップした原因を取り除いてから、サーマルをリセットして下さい。	
	過負荷により減速機付モータのモータ部が焼きついている。 過負荷の原因を取り除いた上で、同形式の減速機付モーターと取替えて下さい。なお、減速機付モータは別売品として用意致しております。	
	減速機付モータの端子内の固定ビスが緩んでいる。 端子内の固定ビスの増し締めをして下さい。	
	押しボタンスイッチの接点が溶着している。 押しボタンスイッチの交換をして下さい。	

症状	調べる箇所・原因・対策		関連文書 番号
電源が入っているのに、コンベヤーが操作できない		<p>サーマルリレーが焼損している。</p> <p>原因を取り除いた上でサーマルリレーを交換して下さい。なお、サーマルリレーは別売品として用意しております。</p>	<p>QR19D</p>
		<p>マグネットリレーのコイルが焼損している。</p> <p>マグネットリレーを交換して下さい。なお、マグネットリレーは別売品として用意しております。</p>	<p>QR19D</p>
		<p>減速機付モータの破損・故障。</p> <p>同形式の減速機付モータへ取替えて下さい。なお、減速機付モータは別売品として用意しております。</p>	
		<p>制御盤内の端子の固定ビスが緩んでいる。</p> <p>制御盤内の固定ビスの増し締めが必要です。</p>	
		<p>トルクリミッターの摩擦板が摩耗している。</p> <p>摩擦板の交換が必要です。点検手順に従って交換して下さい。なお、摩擦板は別売品として用意しております。</p>	<p>QR19A</p>
		<p>トルクリミッターの摩擦板が汚損している。</p> <p>点検手順に従って、摩擦板に油分等がついていないか確認及び清掃して下さい。その処置を施しても運転できない場合は摩擦板を交換して下さい。</p>	<p>QR19A</p>
電源が切れる		<p>一次側電源ブレーカーが遮断された。</p> <p>原因を取り除いた上でブレーカーをリセットして下さい。</p>	

動作関連

症状	調べる箇所・原因・対策		関連文書番号
正転、もしくは逆転しかしない		<p>ベルトの張力が伸び、ベルトがフレーム内部でかみ込んでいる。</p> <p>点検手順に従い、ベルトの張力をテークアップベアリングフレーム内張力調整ボルトにて左右均等に出し調整して下さい。</p>	<p>QR19C</p>
		<p>ベルトジョイント用割ピンが外れ、リンクプレート等が外れ干渉している。</p> <p>不具合部をコンベヤー頭部まで移動させて修理を行って下さい。詳細はベルトアセンブリーマニュアルをご覧ください。</p>	<p>QR19B</p>
		<p>フレーム内へ侵入した切粉が従軸部下側で干渉している。</p> <p>正転・逆転をSWのインチングで動かし、詰まっている切粉をほくして下さい。動き出したら逆転にして切粉を取り出して下さい。その後ベルト張力を調整して下さい。</p>	<p>QR19C</p>
		<p>ベルトカシメ部(シャフト)が切粉等により摩耗し、リンクプレート等が外れ干渉している。</p> <p>不具合部をコンベヤー頭部まで移動させて修理を行って下さい。詳細はベルトアセンブリーマニュアルをご覧ください。</p>	<p>QR19B</p>
		<p>チェーン(ローラー)部の摩耗によりベルトに『がたつき』が生じ、リンクプレートによって内部レールが摩耗・欠損している。</p> <p>ベルトを取り除いた上で修理が必要です。当社サービスにご連絡下さい。</p>	
		<p>加工物が落下し、コンベヤー立上り部とベルトの間で干渉している。</p> <p>コンベヤー立ち上がり部の板を外し、加工物を取り除いて下さい。その処置を施して無正転しない場合は、当社サービスにご連絡下さい。</p>	
		<p>コンベヤーフレーム内部のRレール・ストレートレールが摩耗している。</p> <p>ベルトを取り除いた上で修理が必要です。当社サービスにご連絡下さい。</p>	
正転・逆転ともしない		<p>従軸ホイールが外れている。</p> <p>ベルトを取り除いた上で修理が必要です。当社サービスにご連絡下さい。</p>	
		<p>過負荷により減速機付モータのモータ部が焼きついている。</p> <p>過負荷の原因を取り除いた上で、同形式の減速機付モータへ取替えて下さい。なお、減速機付モータは別売品として用意しております。</p>	

症状	調べる箇所・原因・対策		関連文書 番号
正転・逆転ともし ない		<p>制御盤内のサーマルがトリップしている。</p> <p>サーマルのトリップした原因を取り除いてから、サーマルをリセットして下さい。</p>	
		<p>減速機付モータの端子内の固定ビスが緩んでいる。</p> <p>端子内の固定ビスの増し締めをして下さい。</p>	
		<p>制御盤内の端子の固定ビスが緩んでいる。</p> <p>制御盤内の固定ビスの増し締めをして下さい。</p>	
		<p>減速機付モータ内部で減速機部とモータ部の連結ギヤが摩耗している。</p> <p>同形式の減速機付モータへの取替えて下さい。なお、減速機付モータは別売品として用意致しております。</p>	
		<p>ベルトの張力が伸び、ベルトがフレーム内部でかみ込んでい</p> <p>る。</p> <p>点検手順に従い、ベルトの張力をテークアップベアリングフレーム内張力調整ボルトにて左右均等に出し調整して下さい。</p>	QR19C
		<p>加工物が落下し、コンベヤー立上り部とベルトの間で干渉して</p> <p>いる。</p> <p>コンベヤー立ち上がり部の板を外し加工物を取り除いて下さい。その処置を施して無正転しない場合は、当社サービスにご連絡下さい。</p>	
		<p>ベルトジョイント用割ピンが外れ、リンクプレート等が外れ干渉し</p> <p>ている。</p> <p>不具合部をコンベヤー頭部まで移動させて修理を行って下さい。詳細はベルトアセンブリーマニュアルをご覧ください。</p>	
		<p>チェーン(ローラー)部の摩耗によりベルトに『がたつき』が生じ、</p> <p>リンクプレートによって内部レールが摩耗・欠損している。</p> <p>ベルトを取り除いた上で修理が必要です。当社サービスにご連絡下さい。</p>	
		<p>フレーム内へ侵入した切粉が従軸部下側で干渉している。</p> <p>正転・逆転をSWのインテグで動かし、詰まっている切粉をほぐし、動き出したら逆転にして取り出して下さい。その後ベルト張力を調整して下さい。</p>	

症状	調べる箇所・原因・対策		関連文書 番号
正転・逆転ともしない		<p>ベルトカシメ部(シャフト)が切粉等により摩耗し、リンクプレート等が外れ干渉している。</p> <p>不具合部をコンベヤー頭部まで移動させて修理を行って下さい。詳細はベルトアセンブリーマニュアルをご覧ください。</p>	<p>QR19B</p>
		<p>トルクリミッターの摩擦板が摩耗している。</p> <p>摩擦板の交換が必要です。点検手順に従って交換して下さい。なお、摩擦板は別売品として用意しております。</p>	<p>QR19A</p>
		<p>トルクリミッターの摩擦板が汚損している。</p> <p>点検手順に従って、摩擦板に油分等がついていないか確認及び清掃して下さい。その処置を施しても運転できない場合は摩擦板を交換して下さい。</p>	<p>QR19A</p>
		<p>ドライブチェーンが切れている。</p> <p>ドライブチェーンの切れた要因を取り除いた上でドライブチェーンを組付け直して下さい。</p>	<p>QR19A</p>

戻り配管関係 (バージョン3タイプのみ)

ビニール製戻り配管内でのクーラント液の流れが無い		<p>過負荷によりクーラントポンプのモータ部が焼きついている。</p> <p>過負荷の原因を取り除いた上で、同形式のクーラントポンプと取替えて下さい。なお、クーラントポンプは別売品として用意しております。</p>	
		<p>クーラントポンプモータの回転方向が逆転している。</p> <p>配線を直して下さい。(R相とS相を入れ替えて下さい。)</p>	
		<p>ストレーナーの目詰まりがおきている。</p> <p>ストレーナーの点検、清掃をして下さい。</p>	
		<p>クーラントタンク内のクーラント量が不足している。(水位が下限以下である)</p> <p>クーラント液の適量まで補給して下さい。</p>	

ツイストシュー
ト関係

症状	調べる箇所・原因・対策		関連文書 番号
ツイストシュー から切粉が排出 されてない、又は 排出量が少な い。		<p>スクリーウの磨耗による推力不足。</p> <p>スクリーウを交換して下さい。なお、スクリーウは別売品として用意致しております。</p>	
		<p>システムへのクーラント供給量が適切でない。</p> <p>バルブを調整してシステムへ適切な量のクーラントを供給してください。</p>	<p>QR19E</p>
ツイストシュー 本体からの水漏 れ。		<p>磨耗による穴あき。</p> <p>ツイストシューを交換して下さい。なお、ツイストシューは別売品として用意致しております。</p>	
ツイストシュー からのオーバーフ ロー。 (バージョン3 のみ)		<p>ビニール製戻り配管に切粉が詰まっている。</p> <p>戻り配管上の点検窓を開き、詰まっている切粉を取り除いて下さい。それでも解決しない場合は関連文書番号の内容に従って下さい。</p>	<p>QR19F</p>